

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>司会：水島副会長</p>	<p>定刻になりましたので、第４回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>本日は、会長である横山委員が欠席ですので、美幌町附属機関に関する条例の規定により、副会長の私水島が、会議を進行します。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>本日の会議の欠席委員を報告します。</p> <p>横山委員と松木委員が欠席という報告を受けています。</p> <p>では、早速議事に入ります。</p> <p>本日は、事務局からの説明と委員の皆さまからの事業提案や意見交換が議題となっています。</p> <p>始めに、レジュメの２「美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の決定について」から、レジュメの４「上乗せ交付金について」まで、関連した内容ということで、まとめて事務局から説明をお願いします。</p>
<p>那須総合計画主幹</p>	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>レジュメに沿って、私の方から説明させていただきます。</p> <p>まずはレジュメの２番、美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の決定についてということで、先月の１５日から今月１４日までの一ヶ月間において、この創生総合戦略案のパブリックコメントを実施しましたが、ご意見はありませんでした。</p> <p>そのため、決定に必要な手続きは全て終了しましたので、今回創生推進委員の皆さまの承認をいただいて、本日を策定日として決定・公表したいと思います。</p> <p>内容については、前回の創生推進会議でお示しした「素案」に対しご指摘をいただいた部分については、修正しております、その修正をした総合戦略を、９月９日付で差し替え版を皆さまに送付していますが、そこから変更はございません。</p> <p>そして決定版ということで、写真や挿絵などを加えたことと、さらに、参考資料も加えております。</p> <p>４０ページをご覧ください。</p> <p>この創生総合戦略を策定するに当たって、活用したデータや調査などを掲載していますが、大元は、皆さまに最初の会議でお配りした「美幌町人口減少対策に関する意向、意見集」からで、代表的なものを抜粋しています。</p> <p>参考にしたものは数多くあるのですが、全ての掲載はできませんので、意見集の概要という形となっています。</p> <p>以上のように、参考資料を加えたものを、創生総合戦略として決定したいと思います。</p> <p>続きまして、アクションプランについて説明させていただきます。</p> <p>アクションプランは、いわゆる実施計画のこととして、事業名と事業内容、そして戦略の期間である５カ年のうち、いつからいつまで実施するのかを記載したものです。</p> <p>総合戦略の本文においては、「主な事業」の欄に事業名だけが掲載されていましたが、このアクションプランでは、その事業内容が分かるようになっています。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>那須総合計画主幹</p>	<p>なお、今回総合戦略に掲載している事業とアクションプランに掲載している事業は同じものとなっています。</p> <p>そして、これから創生推進委員の皆さまには事業提案していただきますが、その中で28年度から実行ベースに乗る事業があれば、このアクションプランに掲載することになります。</p> <p>そして毎年度検証していくに当たって、効果が薄いと思われるものなどは、31年度まで矢印が伸びていたとしても、打ち切りになる可能性もありますので、このアクションプランの改訂が今後一番多くなってくると思います。</p> <p>今回は、このように掲載されるという事例としてお示しするにとどめますので、具体的な中身についての説明は省略させていただきます。</p> <p>続きまして、レジュメの4番目、上乗せ交付金について報告させていただきます。</p> <p>上乗せの交付金につきましては、第2回の創生推進委員会におきまして、タイプⅠとタイプⅡという2つの種類がありまして、その交付金に申請する事業について説明させていただいていまして、事業申請自体は8月に提出済みとなっています。</p> <p>その結果ということですが、実は本日、タイプⅠの内示というか決定の発表がありまして、美幌町につきましては、申請していたものが全額決定ということで、本日付けで通知がありました。</p> <p>内容につきましては、美幌みらい農業センターにおける新規就農者支援、婚活支援、栽培研究などを一つのパッケージとして実施するものでして、事業費17,048千円で申請していたものが、満額交付されるということでございます。</p> <p>タイプⅡについては、まだ内示は来ていませんが、10月30日までに総合戦略を策定することが要件でありますので、申請している市町村の戦略の決定が確認されれば、こちらにも内示があると思われます。情報が入りましたら、次回の会議でお知らせいたします。</p> <p>事務局からの説明は以上です。よろしくお願いします。</p>
<p>司会：水島副会長</p>	<p>以上、説明がありましたが、何か質問はありますか。</p> <p>無いようですので、次の議題に入ります。</p> <p>では、レジュメの5番目、「推進委員提案事業について」ということで、委員の皆さまには、事務局から事前に事業提案シートを配布されておりまして、提出をいただいています。</p> <p>本日は、これに関して意見交換を行っていきますが、その進め方などについて、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>那須総合計画主幹</p>	<p>お手元に、皆さまから事前にご提案いただいた事業を、一覧にしたものをお配りしております。</p> <p>「人口減少問題対策」に係る提案」ということで、この資料に沿って、これから、総合戦略の改訂に向けて次年度に実施する事業を考えていきたいと思いますが、ちょうど町においても、次年度に実施する細かな事務事業を考えていく時期に入っていまして、今回皆さまが提案した事業は、すぐに原課につなげていきます。</p> <p>そこで、実施するに当たって、似たような事業がないか、もしくは町で行うのではなく、国又は北海道で用意された補助金があるのかどうかを確認し、もしあるならそちらに振り分けるなどの選別をしたいと思います。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>その上で、実行ベースに乗るものかどうか内容について精査し、原課の方で予算などの概要を出してもらうということを考えています。</p> <p>そのため、ここでご提案いただいた事業が、全て次年度に実行されるわけではありませんので、ご留意いただきたいと思います。</p> <p>そして予算ですが、地方創生に係る事業については、町の財務と掛け合ひまして、別枠の予算を確保する予定です。金額はまだ決まっていますが、その枠内でやりくりして、ある程度の自由を持たせたいと思っています。</p> <p>そしてその予算の動きから、12月か翌年1月までに、事業を決定したいと考えています。</p> <p>そのため、本日は皆さまが考えた事業の他、事業とまではいかなくても、人口減少や若者対策への考えをお聞かせ願えればと思っています。</p> <p>まずはこの資料に沿って、提案者から事業内容について説明をお願いします。提案者の方は、ご自分の提案事業をまとめてご説明していただき、その後で、皆さまから聞きたいことや質問をしていただきたいと思います。</p> <p>そしてこの資料の説明や意見交換が一通り終わりましたら、この資料以外でご提案があれば、その方からお話を伺いたと思います。</p> <p>では、よろしくお願いします。</p>
司会：水島副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ただ今、事務局の説明にありましたとおり、まずは、この資料に基づいた説明を進めまして、その後にこの資料以外でご提案があれば、その方からお話を伺うという手順で進めていきたいと思っています。</p> <p>ご意見については、提案者をご自分の提案事業をまとめて説明した後、その時間を設けますので、よろしくお願いします。</p> <p>早速資料をとったのですが、本日お仕事の関係で、岸田委員が3時半頃までとなっていますので、先に岸田委員からご発言をいただければと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
岸田委員	<p>すいません、大変忙しく、考えていることは2つばかりあるのですが、シートを作成するに至りませんでしたので、口頭で概略をお話ししますので、聞いていただければと思います。</p> <p>1つ目は、町の友好姉妹都市ニュージーランドとの提携事業とでもいうもので、もともと町の開基110周年を記念して、姉妹都市提携をしたのが始まりですが、再来年度が開基130周年、同時に友好姉妹都市20周年という節目を迎えることになっています。</p> <p>当初は、経済的交流も考えられていたそうですが、現在は高校の短期留学ということで、2名が行って、2名が来るという交流で推移している状況です。</p> <p>もう少し広く町に還元できないのかなと考えていまして、単純にいうと、ニュージーランドのワインを皆が飲むような機会を設けられないかなと。</p> <p>また、逆に向こうに、美幌の特産品を送って、フェスティバルみたいなものを開き、B1グランプリではないが、交流として行く中で、そうした取組が出来ないかなと考えています。</p> <p>町内では様々なビールパーティーが開かれています、町民還元ということで、ワインパーティーを開けたらどうなのかなと思っています。</p> <p>予算の関係ですが、私が聞いた話では、周年事業に係る外務省の補助制</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
岸田委員	<p>度があると聞いています。</p> <p>そして来月、東京に行く用事がありまして、その中で外務省に話を聞いてもらう機会を作りました。町長の名前を知っているというつながりもありますので、そちら方面からこじ開けてみたいと考えています。</p> <p>この戦略で実施するしないということは別にして、もう既に動きをしているということをお知らせしたいと思います。</p> <p>どうしても、学校で出来ることは限られておりまして、また個人で出来るものでもありませんので、留学関係も役場の仲立ちの中で実施している状況です。</p> <p>最終的に学校は姉妹校提携を結びたいと思っているのですが、学校間だけでは難しいと考えています。</p> <p>ただ、いつまでも手をこまねいては先に進まないの、現実的な動きを同時に進めていくのと、発案をさせていただきました。</p> <p>動きについては、色々な方面で話を進めています。誰かがやらないといつまでたっても進まないの、そのこともお話しさせていただきました。</p> <p>これが1点目です</p> <p>もう1点が、商品開発に関する事です。</p> <p>高校も商品開発については色々やっているところなのですが、私の見方でいうと、美幌の特産物は何かなと考えたとき、やはりアスパラなのかなと思います。</p> <p>そこで、ホワイトアスパラの瓶詰めはあるのに、どうしてグリーンアスパラの瓶詰めはないのかなと思いついて、そういった一本ものの缶詰、長くて特化したものがあればおもしろいのではないかなと思ったところです。今流行の「缶つま」のような形で、開けた瞬間すぐ食べられるようなものを考えています。</p> <p>商品開発には、色々な考えが出てくると思いますが、アスパラに特化したものなんかおもしろいのではないかなと考えています。</p> <p>他の委員の方の提案を見ましたら、同じようなものがありましたので、被ってくるかなと思います。</p> <p>以上です。先に時間をとっていただいてありがとうございます。</p>
司会：水島副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま岸田委員からご提案いただいた内容について、ご意見はありませんか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、資料に沿って、最初にある城委員、お願いします。</p>
城委員	<p>順番に行きます。</p> <p>まず1点目。</p> <p>冬季の雇用対策ということで、私の仕事柄から見たことです。農業関係、建設関係もそうかと思いますが、春先から秋にかけて仕事が集中するということで、どうしても冬場は仕事がなくなってしまう、非常に労働力の確保が難しい状況です。</p> <p>そのため、個々の企業が頭を悩ませるより、町が音頭をとっていただいて、オール美幌で通年の雇用で課題解決を協議する場があっても良いのではないかなと思っています。</p> <p>2つ目も、農業分野から見たことです。近年、農業分野は法人化が加速している状況にありますが、法人化といいましても、今まで1人1人が社長としてやっていたものが、合併となりますと思うようにいきませんし、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	<p>金銭的な部分でも負担が多くなるということで、そこに新たな農業生産法人を立ち上げる時に、様々な対策を立てるに当たって、3つほど事業内容を書いています、登記費だとか固定資産税とか、そうした助成措置を講じてみてはどうかと考えました。</p> <p>予算額は目検討ですので、何が妥当かは分かりません。500万がいいのか1千万がいいのか。</p> <p>色々あるんでしょうけど、とりあえずは農業サイドから見て、こんな事を考えてみました。それから2ページ目③番、これは特産品の創出支援ということで、類似の案件は先程の総合戦略の方にも記載がありますが、今回、私が言っているのは全体で協議ではなく、大勢で協議してもろくな案が出ないので、個別で取り組みたいと言った人が居たら、そこに、どんどん投資したらいいのではないのでしょうか、ということです。これは、あくまでも農産物に特化したわけではなくて林業でも商業でも工業でもなんでもいいんですけども、美幌のブランド化を図る特産品を開発したいという方には、補助を支出してはどうかと。最初、何かを作ろうとすると、どうしても人件費もそうですし、例えば商標登録やパッケージデザイン、ネーミングに相当お金が掛かるので、今、何か商品を作ってパッケージから全部、プロに発注したら、多分200万～300万のお金がすぐ掛かってしまうと思うので、助成してはどうかと。もちろんばらまきでやってしまうと大変なので、その他で3番に書いてますが、ある程度は有識者による審査会などを設けた中で、判断も必要になってくると思いますが、こういう事をやると少しはブランド化に向けた活性化が図られ、それによって美幌町にお金が落ちるのかな、そうすれば人も集まるのかなと考えています。</p> <p>④ですが、先程のところに関連して労働力確保ということですが、託児所開設と書いてありますが、基本的には万民を対象とした託児所ではなく、企業内託児所です。従業員確保のために、例えば町内はもちろんですが、近隣の大空や津別などからも人を集めようとした時に、未就学児童を抱えるような母親も来やすいような環境を作るための一つとして、企業内託児所を作った時に、助成措置を講じてはどうかとの記載です。</p> <p>次3ページ目の⑤、これは観光振興強化対策費です。こちらは、余所様の組織に口を出すようで大変恐縮なんですけど、ホームページ等で拝見しますと観光物産協会の方も非常に色々と多方面で頑張っておりまして、圧倒的に予算が少ないんじゃないかと思って、個人的には見ています。そこにも記載していますが、総体予算が2,200万程度でございまして。そこからもちろん人件費などを引くと、実際にイベント等で使えているのは500万位しかない。これでは、本当に美幌町で町おこしをしようと思ったって、どうにもならないのではないかとということで、もっと予算を付けてもいいんじゃないかと、一個人、町民としての気持ちです。予算が3,000万と書いていますが、これくらい思い切ってやらないと、美幌町で新しいイベントをやるにしても無理ではないか、500万では、なんにも出来ないと個人的には思っています。信太さんの居る所で、お金の話をして恐縮なんですけども、個人的にはもっと予算を付けないと駄目だなと思っています。</p> <p>それから⑥、これも切実な問題ですが、ビジネスホテルです。なかなか美幌町では、宿泊施設が無いとは言いませんけど、一般的なビジネスホテルという所が、例えばルートインやドーミーイン、東横インといったレベルのビジネスホテルがあるといいのかなという気がしています。これも切実に思います。先日も私事ですけれど、海外からお客さんが来て札幌なんかの取り巻きが居て、6、7人のご一行様が来たんですけど、みんな美幌に</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	<p>泊まらないんですね。やっぱり北見に行ってしまう。今回もオホーツクに2泊くらいしたけど全部北見。北見に泊まりながら、美幌の農協に来たり、津別の農協へ行ったりということをやっているのを見ると、非常に勿体ない。6, 7人来て2泊して食事してといたら、15～20万位のお金、みすみす北見に取られている。そういったことを考えると、是非とも、策を打っていかないといけないと思い、誘致事業を載せました。この間、ドーマーインさんと話をしましたが、彼らにも基準が当然ありますし、田舎に来るのは非常に厳しいなと話をしていましたが、何か助成措置が講じれるのであれば、彼らもまた考えを改める部分もあるのではないかと思います、提案をさせて頂きました。</p> <p>最後⑦、これも非常に差し出がましい事業ですが、町職員の養成事業と書いてますが、今はおかげさまで色々な町の会議でやらせてもらっていますが、意外と町職員の皆さん、古梅ダムに行ったことが無いとか、町の企業なんかも、こんなのあるのか知らないなどの声も。入ってすぐにそれぞれの部署に就いてしまいますので、なかなか行く機会が無く、町民と触れ合う機会も無いということで、なるべく早いうちに、①の対象職員とありますが、採用から5年以内の職員を対象に、今でも自衛隊とかに研修に行っているようですが、もっと広げてパン屋さん、病院、花屋さんなど色々な所へ研修に赴いて、美幌町を知って頂いた中で、町職員の皆さんからも今後人口増加問題ですとか、まちづくりを考える上で色々なアイディアを出して頂ければという願いから、差し出がましいですけど、この様な事も付け加えさせて頂きました。雑ぱくですけど私の意見は以上7点です。</p>
司会：水島副会長	<p>ありがとうございました。ただいま、城委員からご提案頂いた内容について、何かご意見、ご質問はありますか。</p>
竹下総合計画担当主査	<p>事務局ですけど、質問させて頂いてもいいでしょうか。</p> <p>その前に、岸田委員に先程の提案で手を上げそびれてしまったんですけど、一つだけ伺いたかったんですが、僕もワイン大好きなんで是非、ニュージーランドからワインが来ると凄く嬉しいんですけど、これは将来的にビジネスベースに乗せていく様なイメージといいますか、それともあくまで交流の一環として、お互いの文化交流のような側面でやるんですか。</p>
岸田委員	<p>成り行きでいいと思うんですね。ただ、きっかけ作りというのは、何かやらないと始まらないので、友好都市はワインの産地ではないです。ただ、僕らはニュージーランドワインと言ったら、一緒くたなので、特に違和感無く、産地のワインであればかなり安く手には入るのかなという気はするんですけどね。ただ、美幌だけでは、どんちゃん騒ぎだけで終わってしまうので、例えば、アスパラを送った時に向こうで何か出来ないのか、じゃがいもを送った時に何か出来ないのか、お互いの物流が無いと始まらないと思うんですね。ただ、スタート時は町民に姉妹都市だということをある程度定着させないと、それが国同士の町民交流となるとかなりベストに近づいていくのかなと。なかなかホームスティが厳しいみたいですね。逆にいうと美幌から出て行った時に、ホームスティがみんな出来ますかと、今は高校ですけど例えば、中学校レベルではどうですか、小学校レベルではどうですか。小学校レベルだと親が着いて行かないといけません。かなり色々な広がり方が可能だとは思いますが、どこまでにするのかはやっぱり、その時々で色々な条件が出て来ると思うので考えなきゃいけない</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
岸田委員	いかなというのがありますけど。初めはワインを飲めると言えばみんな喜ぶんじゃないかなという、そういう発想です。
竹下総合計画担当主査	<p>ありがとうございます。</p> <p>城委員にお伺いしたかったのは、②の農業生産法人育成支援事業で今、法人化っていうのは求められている所でもあるんですけども、ちょっと私、不勉強なんですけど実際のニーズとして一番法人化に向かないネックになっているものが、やはり金銭的なもの、運転資金があればという事なんですか、一番求められているものは何でしょうか。</p>
城委員	<p>一番のネックはここには書いていません。一番のネックは誰が親方になるかっていうことです。企業でいくと合併なので、誰が社長になるかっていう話です。誰がリーダーシップを取ってやるかってこと。今まで、おらが大将で、三々五々やってた時に、みんながそれなりの歳もいってて経験もある。誰がそこをまとめるのかっていうのが、本来一番のネックです。これは、そこが解決したとしての話ですね。次の課題として、こういう事を考えています。</p>
森久保総合戦略担当主査	あ、の、農業生産法人化したい農家さんは多いのですか。
城委員	<p>意向を持っている人は多いです。かなり居ます。ただ、いざやろうと思うとなかなか、さっき言った事がありますね。みんなが同じ家族構成じゃないですね。例えば、息子さんが戻って来た時の職をどうしたらいいんだとか、その時の頭が変わった時どうしたらいいんだ、とかそういう事を考えるとなかなか、踏ん切りがつかない。現に他でやっている所でも、そろそろそういう問題が起きてきています。最初は、40代、50代で、みんな丁度、同じ様な脂が乗り切った人達と一緒にいるから、最初の10年、15年は上手くいくんです。その後がやっぱり、1人が体調を崩したとか、子どもが帰って来たとか、奥さんが他界されたとか、バランスが崩れてきた時に、どうやってそこを維持していくのか。企業的に割り切ればいいのですが、そこが難しい所です。企業は社長が代わったって別に会社が傾く事は無いでしょうけど、よほどの事がない限りは。ただ、農家の場合は社長兼技術屋兼営業みたいなところがあって、なかなかパツといけません。</p>
村田委員	<p>同じところなんですけども、今回のTPPの関係だとか、それから農機具等もGPSで無人の農機具なども出てきて、高い事もあって個人ではなかなか買えないだろうから、そういうTPPの機会もあって法人化を進めて行かないと、逆に言えば農業を個人ではやっていけない状況になってくるのではないかなと思うんですけど、良い機会だから進めるべきではないかなと思うんですけどね。</p>
広島総務部長	<p>私の方から少し。岸田校長の友好姉妹都市の関係については、少し年数の掛かる話かなというふうに思います。今回も総合戦略の中で取り上げるべきか、あるいは総合計画を今、策定しているのでそちらの少し長いスパンを持った形で課題として取り上げるべきかについては検討が必要かなというふうに思います。総合計画の方でも具体的な実施計画は作りますので、その中に盛り込むかあるいは、今回の総合戦略の方に盛り込むかを検討が</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>必要かなと思っています。あと、商品開発については後ほど出て来る所があるので、その中で一緒に検討が必要かなと思っています。</p> <p>城委員の1点目の冬期雇用の対策事業については、例えば、総合戦略の方でやりますよとなった時に、極めて目標設定が難しいかなと感じもしています。今、通年雇用促進協議会っていうのが現実にあります、残念ながら農業団体が入っていないんですけども、商業団体、あるいは建設業協会等を含めて、通年雇用化をどうしようかという形、これがあの国の補助金、道の補助金を受けて検討しているところがございますので、総合戦略として考えるのは難しいかなと感じています。</p> <p>2点目の生産法人の関係についても、これも現実的には取り組みを進めなければいけない事業、施策であろうと思っていますけど、ただこれも先程話したように、今後の農業経営についてどうするのか、あるいは機械化、生産法人を作った事によって機械が大型化して農業の就労人口が減ってこないかという事も含めて、きちっとそこで新規の雇用が生まれるかという事もあろうかと思えます。生産法人化を進めるというのは、農家戸数が減少していくのが前提の中で、考えなきゃいけないという事なんだろうと思っていますので、そういう対策をこの人口減少対策で打つ事がいいのかどうかを検討させて頂きたいというふうに思っています。</p> <p>特産品の創出等については、今、会議所の中にブランド開発委員会っていうのも設置されているというふうに思いますので、それをタイアップも含めてどうするかという事と、これが最終的に、今回の総合戦略のまち・ひと・しごとについては、最終的には人口減少問題をどう対応していくのという事で、それに関わる人口減少を抑える政策、あるいは地域の産業を守る等を含めてこれが、戦略の中の31ページの中にまち・ひと・しごと創生の政策5原則というのがあります、これらを加味した中で今回の対策をどう打っていくかを考え合わせていけば、先程も言いましたが、総合戦略と総合計画をダブって計画を樹立をしている年なので、住み分けをどうしていくのか、あるいは両方に載せるべきなのかを含めて、検討をさせて頂きたいと思っています。この分では、ある意味ここにも書いてありますが、一定の基準を設けるっていうのが極めて難しい、ただその認証制度全体として、認めていきますよという審査会ですとか、ある一定の基準を作らないと難しいだろうと思っています。特産品の定義をするという事についても相当協議が必要かなという感じもしますので協議をさせて頂きたいかなと思っています。</p>
司会：水島副会長	<p>他にご意見などはありますでしょうか。</p> <p>何かあれば最後に全体を通した意見ということで時間を設けますので、次に進みたいと思います。</p> <p>では、石川委員、お願いします。</p>
石川委員	<p>私の方からですね、私、森林組合の者ですから、カラマツの認証材ブランド化実証事業という事であげさせて頂きましたけど、美幌町は平成17年に森林認証を取得していますけども、この認証材の活用という事で、町でも助成制度を設けているわけですが、これはあくまで町内に住宅を建てた場合について、この認証材を使った場合に助成するっていう制度ですけども、この材が町内で加工されている物ではなくて、ほとんどが町外で加工された物がまた、戻ってきて補助の対象にされているというのが実態でございます。また認証材っていうのはなかなか原木、製材、一次加工した物のみでは製品化をするのは難しい、販売も難しいっていうのが実態で</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石川委員	<p>す。そこで、製品化、物になればある程度、販路は拡大していく可能性が大きい。ここで提案しているコアドライというのはですね、角材あるいは構造材を直接乾燥して、すぐ使えるというものでございます。ほとんどの住宅は今は集成材ですけれども、相当大きな工場で加工させるものですが、コアドライというものは、角材そのものを乾燥して、時間も掛かりますけど、乾燥して仕上げしてすぐ使えるというものでございます。この技術は林産試験場の方で開発されて、道内ではすでに2箇所程、製品化に取り組んでいる事業体もあります。そんなことで、それにF S C森林認証材という冠を着ければですね、もっと販路が拡大するのではないかとということで、これを取り入れたいということなんですけれども、なかなか地元の理解、私共、森林組合の理事をはじめ理解が難しいという事ですので、是非、実際に作ってみて住宅を2棟程度建ててみたいというのが、この事業であります。加工するのに、うちに乾燥機1台はあるんですが、普段使っていて、なかなか空かないので、認証材という事になれば特定の所でないとやって頂けないという事でありまして、その乾燥機を借り上げて実際に乾燥させてみる、という事でありまして。それがまず、第1点の事業であります。費用がどのくらい掛かるかわかりませんが、乾燥機の借り上げと、運搬費、経費程度であります。</p> <p>それからもう1点は、クリーンラーチ、優良種苗という事で、クリーンラーチというのはカラマツの一種なわけですけども、これを取り入れたいと。森林認証、町林は全て認証されてますけど、国際基準でいきますと環境問題があって野鼠の駆除が非常に難しいということでありまして。そこでカラマツ系はどうしても鼠に弱いわけですけども、今、F 1というのがあるって、これが鼠には強いということが言われるんですけども、なかなか入手が困難であります。その中で、クリーンラーチというのが開発された。これは非常に、優秀な苗木なんですけども、挿し木で増やしていく方法なんです。非常に技術が難しいと言われます。役場さんで3、4年前に一部手懸けたんですけども、なかなか成功しなかったということがありますが、最近は種苗業者の方も何件かやられて、実際に苗木が今年くらいから出回っております。そんなことで素晴らしい苗木ということなものですから、ここらの技術を取得して町民のご協力はもちろん、F S Cの認証材を広めていきたい、ということで講師の養成に助成を頂きたい。今、試験場なんかは独立行政法人になっていまして、なかなか講師の方に見て頂けない問題がありますので是非お願いしたい。以上です。</p>
司会：水島副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、石川委員からご提案いただいた内容について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>一つ、教えて頂きたいです。森林組合さん種苗、苗畑は持っていますか。</p>
石川委員	<p>昔、苗畑はやっていたんですけども、カラマツの造林が終わると同時に畑はなくなりました。ただ、種苗業者としての登録はしてますし、配布もやっていますが、今の所、始めるのは役場の方をお願いして、みらい農業センターをお借りして実験的に始めたいと思っています。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>ありがとうございます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>司会：水島副会長</p> <p>森久保総合戦略担当 主査</p>	<p>ご意見などはよろしいでしょうか？</p> <p>では、次の提案者は横山委員ですが、本日は欠席のため、代わりに事務局から説明をお願いします。</p> <p>横山委員がお休みなので、代わりに事務局の方からお話をさせていただきます。まず、一つ目。農園カフェという事で、みどりの村の休憩施設、元「焼肉ハウスびほろ」の有効活用ということで、そこで雄大な景色を眺めながら、地元の食材を活かした食事を楽しめる農園カフェをオープンするというものです。美幌の風景を眺めながら地元メニューを多くの人に足を運んでもらって、景色と味覚を楽しんでもらう、期間限定の約1ヶ月で、施設から眺めた時、一番素晴らしい時期にやるという事で、11時～15時まではカフェタイム、18時～21時はディナータイムという事で、メニューも限定するという事です。予算としては、施設の使用料とディナータイムのバスの運行費を想定しています。</p> <p>続いて、元気な起業家応援事業第2弾という事で、今現在、元気な起業家応援事業というのが27年度事業としてやっておりますけど、この事業は町内の空き店舗とか空き家とかを利用してやる方には上限200万円までを支給するというものなんですけども、これの第2弾ということで中心市街地エリアでの空き店舗対策の一環。中心市街地の活性化と人口減少対策という事です。実験店舗の運営という事で、1建物に1区画7～8平方メートルのスペース10店舗分を確保する、実験店舗の改修は町の負担において整備して、出店に伴う必要な部分は出店者負担とします。お試し期間を含めて最大6ヶ月間の出店として、家賃、水道光熱費は無料とする。仕入れ業者の紹介やホームページ、フェイスブックなどを使ったPR方法などを助言して、6ヶ月目以降の出店には新たな場所の紹介も含め、既存の補助金制度を活用するという事です。実験店舗の運営ということで、実験店舗の改修費用と、6ヶ月間の家賃、水道光熱費を補助対象とするという内容になっています。</p> <p>次のページに移りまして、高校の魅力化による地域活性化～連携型中高一貫教育事業という事です。対象者は、高校や町内の小中学校となっております。高校の統廃合が地域に与える影響は大きい、少子化と人口減少に拍車をかけるものということで、更には教育の力というのは、移住・定住に大きな力を与えるものです。移住の問い合わせの際には、子どもを持つ親御さんの場合、必ず教育の質とか、とりわけ高校での教育の質について問われる事が全国的に多いそうです。子育て世代が流失し、Uターンも減るという事で、人口が増える要素が無い。教育の力が大きいですよという事です。一つ目はですね、「食のスペシャリスト育成」で地域活性化をという事で、美幌高校地域資源応用科と地域との連携で「食」に特化する。二つ目、「地域に根ざした魅力ある人材づくり」とで地域活性化をという事で、生産環境科学科と地域との連携で豊かな感性や創造力、社会性に特化し、豊かな心を持った時代を担う人づくりをする。三つ目は美幌の宝である子どもたちを、学校・家庭・地域・行政が一体となり育てるというもので、町内の全教職員が集まる小中高一貫教育総会の開催。小中高の児童会・生徒会役員が集まり協議する「児童会・生徒会サミット」。交流授業や授業の見学、体験。まちぐるみ応援団「美幌高校を応援する会」の発足。一般町民を対象に「美幌高校農場1日観光ツアー」の実施という事です。</p> <p>続きまして、次の事業が民泊体験の受入拡大事業という事で、移住・定住促進の関係になると思います。美幌町のありのままの暮らしの魅力を、より多くの人に知ってもらうため、子どもから大人まで、様々な需要（農</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>司会：水島副会長</p> <p>信太委員</p>	<p>業、加工品、自然他）に対応できるようコーディネートや宣伝が出来る仕組みづくりをする。という事で、「びほろ暮らし体験団」組織の立ち上げる。民泊可能な住宅の確保。体験、イベントメニューの可能性確保。子どもだったら、食育と自然体験、大人だったら生きがいと参加する楽しさなどを提供する。情報の発信、フェイスブック、SNS、ブログなどで受け入れ拡大を進めていくという事です。</p> <p>横山委員から出されたのは、以上4つの事業となります。お願いします。</p> <p>はい、ありがとうございました。 ただ今の内容について、なにかご意見・ご質問はありますか。 提案者が欠席ですので、ご質問には答えられないと思いますが、何かありますでしょうか。 なければ、次に進みたいと思います。では、信太委員、お願いします。</p> <p>観光物産協会の信太です。常日頃、観光政策について少ない予算で最大の効果を狙い、観光見込みを図っているところなんですけれども、今、現在の観光振興戦略会議というのを策定中で、これからの戦略について色々なアイディアを出しながら、観光の取り込みを増やそうという取り組みが起こっているんですけど、色々な案はあるんですけど、どれも2番煎じ、3番煎じの物が多くて、ちょっと今回ですね、奇抜といいますか、非常にニッチな市場のアイディアをご提案させていただきます。</p> <p>美幌においでよ美幌さん！です。「びほろ」もしくは「みほろ」という名前を付けている方々が、全国に大勢います。残念ながら、道外に出た時に美幌町の宣伝をした時に、「美幌町ってどこにあるの？」とか、美幌峠を知らないという方々が非常に多く居ると。昔は、「君の名は」だとか、クッシーだとか、一大観光地になったんですけど、それはもうすでに過去の事で今は、本当にイメージ作りと、どういうふうに美幌を、名前を売り込むかっていう事で、どの町も非常に頭を悩ませているんですけども、美幌の強みというのは、やはり「びほろ」という美しい名前と、峠に「美幌」という固有名詞が付いている。日勝、石北、狩勝、お互いの地名を取り合って峠にしているんですけども、美幌はそのまま美幌と名前が付いています。滝川さんとか、日高さん、大空さん、北見さん、下川さん、上川さん、広島さん、こういう姓を名前に持つ方がいますが、北海道の中に名前をそのまま「びほろ」「みほろ」と付けられる町という強みを活かして、売り込もうという案です。実は、東京の東大和市に、今年小学校3年生になる岡部美幌ちゃんという方が、一昨年来ました。お父さん、お母さんが美幌峠に感動して、新婚旅行で来て感動して、お腹に居る赤ちゃんに「美幌（みほろ）ちゃん」と名付けました。弟にも、幌の字を取って、「幌大（こうだい）くん」と名付けました。その方々が、毎年ではないが度々訪れて美幌ちゃんの成長を祝うと同時に美幌峠に行って、また、感動してくれている。そこそこに存在する「美幌」という看板にヒットして、そこで記念写真を撮ったりしている。こういう方が、フェイスブックで調べると3、40人いらっしゃる。「みほろ」や「びほろ」。フェイスブックというのは実名を出すんですけど、おそらくかなり潜在的な方々がいらっしゃると思うんですが、由来として美幌町から取られたかわかりませんが、そういう方々に、本当に小さなマーケットなんですけど、美幌に来た時に何か特典を付けたらどうかという事で、例えば、飲食がタダになる、入浴施設や、宿泊施設がタダになる、グリーティングカードが送付されるよという事があるんですけど、これはイメージ作りです。美幌という名前がマスコミ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
信太委員	<p>に取り上げられたり、やはり自分の名前の町があるという事を一生思っ生活されるわけですから、相当な宣伝効果がある事を狙って、ずっと永続的に特典を付けるかどうかはまだまだの話ですけど、そういう方々を美幌町民みんなで見守ろう、大事にしようという事です。今回、美幌ちゃんが来た時も「私、みほろっていうの。」と言うと、凄く周りの方々が「ああ、そうなの。」「がんばってね。」「大きくなったらまた来てね。」だとか、美幌町民も愛情を持って接してらっしゃるのを見て、何かこういった試みが出来ないかなと考えて、経済的な効果や、人口増に直接つながるかとかという未知数なんですけど、イメージと知名度が断然美幌がないという事を、本当に、どこに行っても感じているので、何か奇抜な、誰もやっていない事を提案して宿泊や入り込みにつながれたらなと思って、夢物語かもしれませんが、難しいですが提案させて頂きました。</p>
司会：水島副会長	<p>はい、ありがとうございました。 ただ今、信太委員からご提案いただいた内容について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p>
村田委員	<p>びほろさんとか、みほろさんって、わかってるだけで何人位いるんですか。</p>
信太委員	<p>フェイスブックで、36名でした。ほとんど女性です。</p>
村田委員	<p>イメージアップするとしたら、1回、例えば、日にちを決めて、その日に、知っている人だけでもいいですけど、その人に案内を出して美幌に来てくれたら、こういう事がありますよとしないと、記事にならず大きな物になっていかない気がします。たまたま、前回は記事になったけど、1人ずつ来られた時にそれに対応しても、地元の新聞には載るかもしれないが、全国的な記事にはならないので、「美幌サミット」みたいな名前で、集まってもらって、イベント的なものにしないと、難しいのではないかなという気がします。</p>
司会：水島副会長	<p>ご意見などはよろしいでしょうか？ では次に、吉江委員、お願いします。</p>
吉江委員	<p>僕がイメージしていた提案とちょっと違ってたので、みんなでざっくばらんに話して、こういう課題があるよ、この課題をどうやったら出来るね、というような感じでイメージしていたんですけども、まあ、出来る、出来ないは抜いてますし、課題なども全部取っ払って考えてきました。実際、直接的に人口を増やすにはどうしたらいいのと考えて、美幌って何の町なのと考えた時、自衛隊さんの町かなっていうのもありましたし、例えば、人口減少に人が住むには、働きに来てもらわないと駄目だと。じゃ、その各事業に雇用増やせるのかと言った時に、おそろく無理だろうと。その中で、自衛隊しか無いでしょうと短絡的な考えなんですけど。聞いただけで、正式な物ではないですが、公表では隊員が800人と出てますが、実際は5百数十人しか居ないと。以前は、千何百人居たと聞いていますが、国策によって減少しているんでしょうが、実際は全国的に自衛隊員が増えている中で、隣の遠軽や別海は増えていると。美幌は減っているが、それは本</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>当に国策国防だけなのかと。そこで僕がちょっと考えたんですけど、そういうのって色々ね、お願いに行っているんじゃないかと、どんどんお願いに行って、うちの町の隊員さんを増やしてねってやっているんじゃないかと。美幌もやってると思いますよ。だけど、どの程度やっているかはわかりませんし、継続的に計画的に長期的にずっとやっていかないと、実際、美幌の町の人口2万ちょっとの中で、仮に公表通り800人として人口が掛ける3で、2,400人としたら、10%以上の人口を占めるわけですよ。一企業が。そういったものを有効活用していかないと、美幌はやっぱり、他の産業や事業が、今の所あんまりないので、繋ぎではないですが、それまでの間、そういったもので人口減少を食い止められるのではないかと、ということです。</p> <p>次に、外から人を呼ぶという事であれば、あまり良い事ではないが、例えば町が所有しているあまり使っていない土地があれば、もしくは、町民の中で物納したいと、行政側はどこもそうですが、あまり喜ぶわけではないですけど、そういったものを引き受けて、町外から来たいと言う人には、あげましょうと。そのかわり、町内の建設業者で家を建ててねなど、色んな縛り付けはあるけど、そういったことで、土地はあげると。本来でいくと町民は公平でなければならないなどあると思いますが、僕は来るんであれば別にいいと思います。</p> <p>あとは、人が増えたらどうするのという事で、学校が一番手っ取り早いという事で、大学などに限らず、農業大学校だとか研究所など、農業に携わるようなものがあってもいいのかなと思います。</p> <p>それともう一つ。これは直接的ではないですが、やっぱり美幌は農業の町というイメージがあるんですが、農産物の面で、美幌って何なのって言う時に、岸田校長はアスパラと言ってましたが、僕はアスパラがそうなんだと思いました。僕は芋、玉ねぎ、ビートくらいしかピンと来ませんでした。発想が短絡的で大変申し訳ないですが、作ればいいじゃんっていう発想なんですよ。作るにしてもみんなどこでも作っているものではなくて、北の町なのに、南の物が採れるなどで、北限と記載したが、パイナップルでもなんでもいいです。例えば、弟子屈や、鹿追でマンゴーをやっていますよね。結局、町に行くと大きなハウスで道内よりも道外に全部出荷している。弟子屈は釧路の方がやっているはずですけど、地熱を使って、ハウスでやっている。こんなに暑い美幌でハウスでやったらなんぼでも出来るのではというのが、僕の発想です。僕は農業関係はあんまりわからないので城さんに怒られるかもしれないが、他で出来て美幌で出来ないわけではないと思うし、美幌の現状としては、離農者も増えていると聞いています。さっき、雇用の関係を城さんが言っていました、そんなのがあったら、年間雇用が出来るんじゃないかと素人考えですが思います。特産品を作るのにそれもあるかなと思いました。</p> <p>突拍子もない3点ですが、以上です。</p>
司会：水島副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ただ今、吉江委員からご提案いただいた内容について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>この、農産物支援事業の北限のパイナップルとかキウイは、今、弟子屈産でやっている弟子屈マンゴー。私が5年前、道庁の農業支援課に居た時の最後の案件がそれでした。釧路の建築会社なので、厳密には農業者の方ではない。地熱、温泉熱を利用して上手く稼働したようです。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>司会：水島副会長</p> <p>村田委員</p>	<p>正直に言うと上手くいかないんじゃないかと見ていたんですけど、狙いとしては、宮崎のマンゴーは夏だけ、冬で高く売れる。北海道内では神内ファームという所が、牛もやってるんですけども、片手間にマンゴーも冬にやっていて、そこが非常に上手く行って、それを狙い目として、更に北の方で、やってみるという事で取り組んでみたそうです。宮崎に研修に行つて、上手くいったんだなと思いました。やる意欲があれば、確かに目玉になり面白い取り組みだと思います。</p> <p>他に、ご意見などはよろしいでしょうか。 あとで気付いた点などありましたら、最後にでもご質問ください。 では最後に、村田委員、お願いします。</p> <p>それでは、私の方から4点あります。 まず、一つ目は、美幌町内で働く外国人、クレードルなどに居ると聞いているんですけども、その人を対象に町内の施設見学、近隣の観光にバスを使って参加をしてもらって、その人達を観光大使という形にして、帰国時に観光のパンフレットだとかを持ち帰ってもらって、それぞれの出身地の役所や図書館にそれをおいてもらって、口コミを含めて美幌町のPRを帰ってからしてもらいたい。バス代や昼ご飯代くらいで済むのかなという事を考えてます。1%増えるかは疑問ですけども、せっかく地元にいる人についての有効活用していきたいなということで考えてみました。 二つ目は、今、北海道の最低賃金は764円となっていますが、美幌町で800円として、美幌町の労働環境のイメージアップという事で、36円上げたからといって、美幌町は最低賃金労働者に対しても、優しいよというイメージを出していこうという事です。労働者の方々の生活水準の向上にもなる事も含めて考えてみました。差額の36円×8時間×20日。こんなに働く人はいないのかなとは思いますが、9,000円程度のアップになります。最低賃金のままだと、だいたい年間150万円位の賃金かと思いますが、対象が何人いるかわかりませんが、美幌町では最低800円以上の賃金なんですよとイメージアップの戦略という事で考えてみました。 三つ目は、人材バンク事業ということ、色々な文化団体、スポーツ団体、個人も含め、特技や資格を色んな方が持っていると思います。それをホームページに登録しておいて、自治会、商店会、学校、各種施設の行事や学習にホームページを見てもらって、今回はこの人に来てもらおうだとか、すぐに見れるようにしておけばいいのかな、というふうに思いました。その中には名称、代表者、連絡先、活動内容、イベント時の経費、例えば、バルーンアートなら風船代などを一覧表にしてわかりやすくしておきたいです。各種団体の活動の活性化、受ける方も頼む方も両方出来るのではないかと思います。今、政府で出ていました1億総活躍にも、引っかかるのかなと思います。登録しておけば、色々な場面で役立つと思います。 四つ目ですが、子ども育成・見守り事業として、美幌林業館にきてらすがオープンしまして、今の所、利用者が多い状況だと聞いています。そこに子育て相談員を配置して、利用者、若いお母さんが多いと思うんですけど、利用者の相談だとか、子ども達に昔の遊びを教えるなどして、一日中居なくてもいいので、利用者の多い時間帯に3時間程度、そこに居てもらい相談なり、遊びを教えるなどをしてもらうという事で、相談員の一人の賃金分を払えば、相談者も含めて、また利用が増えるのではと考えて居ます。以上です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
司会：水島副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ただ今、村田委員からご提案いただいた内容について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p>
城委員	<p>一つ目の、クレードルに外国人労働者が居るとの話ですが、もう少し専門分野でお話をしますと、今、クレードルに来ているのは国が進めている外国人の技能実習制度で来ているんですよね。みんな、目的は技能実習制度ですから、母国に帰って、日本の技術を普及するという目的で来ている。彼らも事業所によって、枠が決まっていて、呼べる人数が確定されているので、この方々の人数は固定なのかな。美幌のクレードルで言えば、ほとんどが中国人なんですけど、聞くと主婦が多いみたいです。旦那と子どもを残して来ている。どうして、来てるのか、ほとんどの目的が子どもの教育費だそうです。将来、子どもを大学に入れるために、お母さんが日本に来て働くのが、今、来ている人達ほとんどの目的の様な話をしていました。この間、たまたま来ている中国人と話す機会があったんですけど、そういう方が多いですね。美幌のクレードルは。みんながみんな、そうではないでしょうけど、美幌のクレードルはとにかく中国の主婦が多いです。余談ですが。タイとかベトナムとかもいっぱい来てますから。どういう世代の人かわからないですけど。来てる中でもグループがあるみたいですね、5、6人のグループが、3つ4つ同じ地区から入って来るみたいです。みんな、小さい子を残して来ているんですね。</p>
広島総務部長	<p>二つ目の最低賃金の件なんですけど、美幌町は最低賃金を800円としないかと、美幌の事業所で働く方については、という事の事業内容なんですね。</p>
村田委員	<p>その差額は町で持ちますよという事です。36円持つのか20円持つのかにそれぞれの事業所によって違うと思います。</p>
信太委員	<p>きてらすについてなんですけども、うちの協会が町から管理委託を受けて2階の管理させてもらっているんですけど、凄く良い発想だと思うんですよ。10月3日にオープンして、二十何日か経ってますが、すでに4千人の利用がありまして、毎日、土日、一日中歓声が下まで響いてくる状況です。この状況の中で、先程、お母さんが多いとおっしゃったんですけど、実は、おじいちゃん、おばあちゃんがもの凄く多いです。横山さんは今日は欠席ですけど、必ず、土日現れて、連れてきてぐったりして帰られるんですけども、そういう状況が今、一ヶ月続いています。</p> <p>これが、冬、一年経つとどうなるかわからないですけど、おじいちゃん、おばあちゃんも居るし、お母さんもいるという事です。ずっと利用者が多い時間なので、これがどこで落ち着くかわからないですけど、少ない時間帯を見つけてそこで、相談員に相談しないと場所が無いですから、そういった事を工夫してやれば、いい試みになるのではないかと思います。</p>
村田委員	<p>駐車場は足りているんですか。</p>
信太委員	<p>町の方で西側の私有地を整備して借りてもらっていて、50台以上停められるようにして、そこを利用しています。</p>
城委員	<p>この間、僕も行ってきましたけど、名簿を見たら他町村が多いですね。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田委員	名簿を見て、利用者数を出しているんですか。
信太委員	実数に2割増しています。かなり書いてない方がいます。
広島総務部長	町外の幼稚園や保育園からバスを使って来る所もあってですね、町内のお子さん達が団体で40人、50人来た時に使えるかっていうのがあって、無料でやっているの、それらも含めて検討しなきゃいけない時期が来るかもしれないですね。
吉江委員	遊ぶ所が無いっていう事ですね、近隣含めて。
広島総務部長	美幌は子どもが遊ぶ場所がないってアンケート結果に出ています。お母さんと子どもと一緒に行く場所がない。子ども達が子ども同士で遊ぶ場所がないっていうのが非常に多い。そういう方達が全部北見に流出しているという形が出てきている。その対策として何かを打っていかないとならない。
司会：水島副会長	ご意見はよろしいですか？ これで、資料にある提案内容については全て終わりましたので、これ以外にご提案のある方、若しくはご意見などありましたら、ご発言をお願いします。
那須総合計画主幹	今回ですね、ご提案頂いたものはですね、経済界の方が多いと言う事でそういった提案が多かったんですけども、子育て支援の観点ですとか、例えば、出生率、数を増やすだとかといった部分の観点で何かあればいいなどの事もあるんですけども、その辺で例えば、水島さん、子育ての観点で何かありませんか。
水島副会長	今回、資料を頂いた中で、提案するに至らないかと思ったので、今回控えさせて頂いたんですが、一母親として、子どもが巣立っていく中で教育や仕事に関する事をもの凄く考える事がありました。そこで、これから美幌町をそうしてほしいというわけではないですが、例えば、これから高齢化が進んでいく中で福祉の町にしていき、福祉の町という事を考えたら、福祉を目指す子ども達が行ける学校が美幌町にあり、そのまま美幌町で福祉に携わる事が出来る。もしくは、看護学校でもいいですが、そういう学校があってそのまま、町内で働けるっていう学校があったらいいかなとは思いました。本当に、何も調べていなく、一母親としての意見となってしまうんですが、学校があって、そのまま地元で働けるっていう。また、農業科とは別の枠の学校が建ってくれたらいいなという思いがあります。以上です。
岸田委員	東川町ですか、君の椅子が定着しましたよね。あれは良い企画でしたね。生まれた子どもに毎年デザインも違うし。
広島総務部長	先程のきてらすもそうなんですけど、それほど多額のお金を掛けなくても住民ニーズだとか、子育て環境にとって、プラスになるものっていうのは、知恵を出せば出来る事が数多くあるんだろうと思います。ここで言えば、5年間の中にどういった対策を打っていくかっていう事も考えなきゃいけないと思ってますし、今回この総合戦略の中で4つの柱を立てて、5



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>年間対策を取る形で決定をさせて頂いております。その４つの柱の核となる事業、対策をどう打っていくかという所も、きちっと示さなければいけないだろうと思っておりますので、それについて、今日、ご提案頂いた内容も含めて、これから役場の中のプロジェクトチームでも検討させて頂くという事になろうかと思っておりますので、少なくとも２８年度の予算編成は１２月提出期限なものですから、それまでには２８年度の対策についてはきちんと確立をしなければならないというところからいくと、新しい改訂版の総合戦略も初めに策定をしたいというふうに思っておりまして、また、それぞれプロジェクトチームの中で出された意見を含めて、委員の皆様と協議をさせていただきたいと思っております。また、その核となる事業に、細部の事業をどうぶら下げるかということも、協議をさせていただきたい。</p> <p>以前にも申し上げましたが、改訂版の総合戦略が本格的なものだと考えていまし、タイプⅠとタイプⅡのために初版の総合戦略を、最低限という形で作らせていただいたので、これに肉付けをするかたちで総合戦略を３月までに改訂したいと考えています。色々なスケジュールを考えると、１２月までには改訂の素案を作っていかなければならないので、委員の皆さまにはご協力をお願いしたいと思っております。</p>
司会：水島副会長	振興局の野村部長さんから一言いただけますでしょうか。
野村戦略策定支援担当部長	<p>はい、北海道の状況を申し上げますと、本日、北海道創生総合戦略が決定する見込みです。１７時頃から協議ということ聞いています。この戦略の中には、振興局の地域戦略というものがございます。農林水産業の強化であるとか、農林水産物の高次加工に係る産業振興、そして来訪促進という３本柱で採用することになっています。細かに内容は省きますが、中身については、美幌町さんの戦略に合致している部分が多々ございまして、このように事業から作っていくやり方をしているところは、他市町から比べても珍しいと思います。あまりないやり方ですが、非常に実行性のある戦略になるのかなと思っております。これが道の戦略と非常に合致しますので、実行に当たっても、美幌さんと連携しながら、その実行確保に向けて行きたいと思っております。よろしくお願いします。</p>
司会：水島副会長	<p>他よろしいでしょうか。</p> <p>皆さま、活発なご意見ありがとうございました。事務局には、これらの提案や意見を、総合戦略に活用させていただきたいと思っております。</p> <p>では、レジュメの最後になりますが、「今後について」ということで、事務局より説明をお願いします。</p>
那須総合計画主幹	<p>資料はありませんので、口頭で説明させていただきます。</p> <p>先ほどの意見交換の前に、お話しさせていただいたことですが、本日はいただいたご提案やご意見は、まとめまして、庁内の各原課に配りまして、確認してもらう予定です。その際に、すでに同じような事業があるのかどうか、また国や北海道において既に実施できる補助金が存在していないかどうかを確認してもらい、振り分けを行っていきます。そこから更に、実施可能かどうかを精査していくという作業を行っていきますので、その時間として約２週間と考えています。その後に、創生推進委員会を開いて、原課からの回答を元に、更に皆さまと話し合っていきたいと思っております。</p> <p>今後の会議日程についてですが、お手元にいつもの日程調整表をお配りしておりますので、ご記入をお願いします。後日の提出でも構いませんので</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>よろしくお願いします。</p> <p>本日は、総合戦略の改訂に向けての作業に着手したばかりで、今後も何度かお集まりいただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。以上でございます。</p>
司会：水島副会長	<p>以上、今後について説明がありました。次回の会議については、日程調整表が付いていますので、ご記入できる方は記入をお願いします。</p> <p>これまでにについて、全体を通して何か質問はありますか。</p> <p>その他、事務局より何かありますか。</p>
那須総合計画主幹	<p>ございません。</p>
司会：水島副会長	<p>では、以上で、本日予定されている会議の内容について、全て終了しました。皆さまお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">了</p>